

CASBEE[®] 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)伏見区M工場新築計画	階数	地上3F
建設地	京都市京都市伏見区久我西出町8-18、8-19	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火地域	平均居住人員	60人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2018年9月7日
敷地面積	2,832.58㎡	作成者	豊川 秀夫
建築面積	1,540.00㎡	確認日	2018年9月10日
延床面積	2,966.53㎡	確認者	湯浅 勝也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5 **LR のスコア = 3.4**

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 適切に窓を設置した事務室の天井高3.0mを確保し、リフレッシュスペースを設置する等、執務者の心理性・快適性に配慮した 内装仕上げ材にはF☆☆☆☆を採用し、室内環境に配慮した		その他
Q1 室内環境 内装の仕上げにはF☆☆☆☆を採用し、高い自然換気性能により室内環境に配慮した	Q2 サービス性能 適切に窓を設置した事務室の天井高3.0mを確保し、リフレッシュスペースを設置する等、執務者の心理性・快適性に配慮した 補修必要間隔の長い外壁仕上げ材を採用し、建物の耐用	Q3 室外環境(敷地内) まちなみ・景観への配慮を行った
LR1 エネルギー 太陽光発電やLED照明を採用し、設備システムの高効率化に努めた	LR2 資源・マテリアル 発泡剤を用いた断熱材等を使用せず、汚染物質含有材料の使用回避に配慮した	LR3 敷地外環境 屋外広告物はなく、光害の抑制に努めた

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される